

## 第 4 3 0 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 9 年 6 月 5 日 ( 月 ) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 4 時 1 0 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出 席 者 中 井 学 長、中 田 理 事・副 学 長、三 浦 理 事・副 学 長、小 沢 理 事・副 学 長、  
若 井 理 事・事 務 局 長  
【オ ブ ザ ー バ ー 出 席】真 田 副 学 長、千 葉 副 学 長、上 井 監 事、橋 本 監 事
4. 欠 席 者 な し
5. 審 議 事 項
  - ( 1 ) 平 成 2 8 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書 に つ い て 資 料 1
  - ( 2 ) ア テ ネ オ ・ デ ・ マ ニ ラ 大 学 ( フ ィ リ ピ ン ) 及 び ハ ン ザ 大 学 ( オ ラ ン ダ )  
及 び ノ ー ザ ン ブ リ ア 大 学 ( 英 国 ) と の 大 学 間 交 流 協 定 締 結 に つ い て 資 料 2
6. 報 告 事 項
  - ( 1 ) 平 成 2 8 年 度 学 生 教 育 支 援 基 金 に よ る 支 援 事 業 実 施 報 告 に つ い て 資 料 3
  - ( 2 ) そ の 他

### 【確認事項】

第 4 2 9 回 役 員 会 議 事 要 録 を 原 案 の と お り 確 認 し た。

### 【審議事項】

- ( 1 ) 平 成 2 8 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書 に つ い て  
中 田 理 事 ・ 副 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、資 料 1 に 基 づ き、「平 成 2 8 事 業 年 度 に 係 る 業 務 の 実 績 に 関 す る 報 告 書」の 全 体 構 成、作 成 過 程 に お け る 修 正 内 容 及 び 今 後 の ス ケ ジ ュ ー ル 等 に つ い て 説 明 が あ っ た。併 せ て、今 後 も 引 き 続 き 各 理 事 ・ 副 学 長 に 担 当 部 分 の 確 認 を 依 頼 し た い こ と の 補 足 説 明 が あ っ た。  
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て、教 育 研 究 評 議 会 ( 6 月 6 日 開 催 ) の 議 を 経 る こ と、同 教 育 研 究 評 議 会 後 に 学 内 及 び 経 営 協 議 会 学 外 委 員 会 か ら の パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト を 募 集 す る こ と、パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト の 結 果 を 踏 ま え 自 己 評 価 委 員 会 ( 6 月 1 5 日 開 催 ) の 議 を 経 る こ と、こ れ ら の 手 続 き を 踏 ま え、役 員 会 ( 6 月 1 9 日 開 催 ) 及 び 経 営 協 議 会 ( 6 月 2 7 日 開 催 ) の 議 を 経 る こ と が 確 認 さ れ た。
- ( 2 ) ア テ ネ オ ・ デ ・ マ ニ ラ 大 学 ( フ ィ リ ピ ン ) 及 び ハ ン ザ 大 学 ( オ ラ ン ダ ) 及 び ノ ー ザ ン ブ リ ア 大 学 ( 英 国 ) と の 大 学 間 交 流 協 定 締 結 に つ い て  
真 田 副 学 長 よ り 標 記 に つ い て 提 案 が あり、「福 島 大 学 の 国 際 交 流 協 定 締 結 に 関 す る 基 本 方 針」に お け る 重 点 地 域 の 一 つ と し た 英 語 圏 の 大 学 と の 協 定 で あ る こ と の 説 明 が あ

り、詳細については国際交流センターから説明するとの発言があった。

国際交流センターより、資料 2-1 に基づき、アテネオ・デ・マニラ大学の概要、協定締結に至る経緯、学術交流協定及び学生交流協定の内容として一般的なものであること、学生交流協定における特徴として Fukushima Ambassadors Program での留学生受け入れ人数と本学からの派遣人数との関係を記載していること等の説明があった。引き続き、資料 2-2 に基づき、ハンザ大学の和文名称、大学の沿革、組織及び規模、交流目的、交流締結により期待される効果、学術交流協定及び学生交流協定の内容等について説明があった。引き続き、資料 2-3 に基づき、ノーザンブリア大学の沿革、教職員・学生数、これまでの交流の経緯、学術交流協定の内容として一般的なものであること、学生交流協定の内容としてイギリスの法律に定める事項を記載していること等の説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして、教育研究評議会（6月6日開催）に報告することが確認された。

#### 【報告事項】

##### (1) 平成 28 年度学生教育支援基金による支援事業実施報告について

若井理事・事務局長より標記について報告があり、資料 3 に基づき、4 事業の概要、得られた主な成果、交付総額及び執行総額、平成 29 年 4 月 3 日現在の学生教育支援基金収支等について説明があった。

質疑応答の中で、次回の実施報告から、各事業における交付額、執行額及び過不足額の記載表現を変更することが確認された。

##### (2) その他

なし。